

令和5年11月17日（金）（R5第32号）

11月の上旬は半袖の子も多かったのですが、先週末から急に寒くなり、暖かそうな上着を着て登校する子が増えました。我が家でも、羽毛布団を押し入れから出したり、暖房機を設置したりと着実に冬仕様になってきています。気が付けば11月も半分以上過ぎているので、冬支度は当然なのですが・・・。

さて、先日近隣にある幼稚園で研究大会が行われました。多くの幼稚園や保育所の先生方が熱心に園児の活動を参観しました。

年少組（3歳児）は、外国人講師による英語の授業や器械運動の要素を盛り込んだサーキットトレーニング（?）を行っていました。英語の授業では絵を見て、大きな声で英単語を発音していました。サーキットトレーニング（?）では、順番を守り、跳んだり、回ったり、くぐったりと体をいっぱい動かしていました。

年中組（4歳児）は、グラウンドを使ってのラインサッカーです。子ども同士が手をつないでラインを作り、攻めたり守ったりします。時に自由に動く場面もあり、初めて見た私にはルールを完全に理解するまでには至りませんでした。子どもたちがハッスルして夢中で取り組んでいることは伝わってきました。

そして、私が最も注目したのは年長組です。なぜなら、来年度小学校1年生となり、本校に進学する子もいるからです。

年長組は、年少組・年中組と違って、授業時間が2倍の40分間でした。つまり、小学校での1単位時間とほぼ同じです。

年長1組は、くぎを用いて石版を彫る版画の学習でした。

年長2組は、粘土で作成した動物に絵の具で着色する学習でした。

どちらも、体育のように体を動かさず学習ではないので、40分間集中しているのは無理ではないかと思ひ、見ていました。しかし、子どもたちの集中力は途切れません。最後まで一

生懸命に作業に取り組んでいました。すばらしい！小学校も頑張らねばと改めて思いました。

11月10日（金）には、就学時健康診断が行われました。お家の人に連れられて、松ヶ丘小学校にやってきました。健康診断時に、順番を待っている子どもたちの様子を見ましたが、誰もが落ち着いた態度でした。入学式での再会が楽しみです。